

CMP セグメント	
質問	回答
油圧機器は需要好調に際して、増産設備投資等を行っているか。	<ul style="list-style-type: none"> 油圧機器事業では、中国の需要環境好調による増産設備投資は特段行っていない。従来の設備で対応しているので増員による人件費の増加はあるが、工場稼働は上がっているため、3年前の赤字だった頃に比べると収益貢献は大きい。
精密減速機の下期の売上計画は上期以上を織り込んでいるようだが、下期の受注の見通しや下期計画の確度はどうか。	<ul style="list-style-type: none"> 減速機事業の売上のうち、8割がロボットメーカー向けの売り上げである。 受注～売上までのリードタイムは1か月のため、受注と売上は連動している。 受注は2017年下期と比べると減退しているが、2017年上期の受注高と近く、対前年の上期と比べると、2018年上期の受注高はほぼ横ばいであった。 下期のロボット需要に関しては、回復を見込んでいるロボットメーカーと、懐疑的なロボットメーカーが混在しており、当社は母機メーカーの需要次第であるが、現在のところ、需要の見通しは不透明であり下期計画を据え置く。 一方、ロボット向けの受注が減速したとしても、減速機事業は売上の2割を占めている一般産業向けにも注力し、修正計画を達成したい。

TRS セグメント	
質問	回答
TRS の営業利益の減少の一因は中国高速鉄道とあるが、年間の売上計画を変えているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2018 年の中国鉄道機器の期首売上目標は 105 億（高速鉄道の売上は 40%、地下鉄の売上は 60%）であったが、95 億円（高速鉄道向け 35%、地下鉄向け 65%）に修正している。高速鉄道は MRO を中心に売り上げる計画。
TRS の下期利益増加要因は？	<ul style="list-style-type: none"> ・ 航空機、商用車、船用機器は計画通り。OVALO 社の損失分が下期に無くなり既存事業は堅調に推移することによる。
OVALO 社減損の背景について、買収額に対して、減損額が大きい気がするが、買収当時は、2018 年度にどのくらいの売上を見込んでいたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顧客の自動車メーカーに対する開発売上と試作品の納入を予定していた。 ・ 買収当時は、顧客の自動車メーカーとのプロジェクトでもっと早い段階での製品化を予定していた。 ・ OVALO 社の 2018 年上期損失 12 億円は、自動車向けプロジェクトの遅れによるものである。 ・ 減損については、買収当時に想定していたプロジェクトがずれたこともあり、IFRS のルールに従い、減損テストを行ったところ、今回減損を行なうこととなった。
OVALO 社のプロジェクト遅れによる売上は、下期に売上が立つ計画か（修正計画に織り込まれているか）。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一部計画には織り込まれているが、量産による売上が見込めるのは、もう少し先になる。
OVALO 社と Audi 社とのプロジェクトで量産が遅れている理由はなにか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な理由は、コメントできないが、顧客との間でよりよい製品をつくるため、試験等を綿密に行い、スペックを高めていることに時間が掛かっている。
過去に買収した会社で、今回の OVALO 社と同様に減損することになるリスクを抱えている会社はあるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的にそのようなリスクのある会社は無いと認識している。
今後 OVALO 社がさらにのれんを減損するリスクはあるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買収時の、のれんは 50 million Euro。今回 40 million Euro の減損であるため、10 million Euro の、のれんが残っている状況。 ・ 買収した OVALO 社は、システム開発技術を有し、すでに自動車メーカーとの取引を行っている、実力のある会社。

<p>OVALO 社減損について、買収額に対して、減損額が大きい気がするが、買収する会社の選定プロセス等の見直しが必要ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のところ、選定プロセスの見直しは必要ないと考えている。 ・現在は、OVALO 社の持っている顧客との具体的な案件やその内容を開示することができないため、OVALO 社の成長性を見通すのが難しく見えるかもしれないが、この先、売上につながる具体的な案件が開示できるタイミングが来れば、OVALO 社の成長性を理解してもらえると考えている。 ・現在は Post-Merger Integration で苦労しているが、これをきっかけに買収を控えるということは考えていない。 ・今後のスタートアップ企業などの買収プロセスについては、我々の周辺技術から離れた技術の買収時に困難が発生する可能性があり慎重になる。社内の買収に係る規定に具体的に織込む。
<p>OVALO 社の買収時の利益は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・買収時には利益はほとんどなかった。
<p>OVALO 社の Audi 社向け開発品と規模は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Audi 社との秘密保持契約で商品名は言えないことを理解して頂きたい。
<p>Corporate Venture Capital への出資 100 億円について。100 億円は出資済みなのか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ出資しておらず、ファンドとしての総枠であり、数億円の企業を吟味し投資していく。投資枠の大きさが重要と考える。
<p>TRS のその他売上（説明会資料 p. 8 グレー着色部）の上期の減少の理由（64 億→29 億）と下期回復の内容は？この OVALO 社が含まれるのか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・その他売上（説明会資料 p. 8 グレー着色部）のところにはサービスを行う会社の売上や OVALO 社の売上が含まれている。

ACBセグメント	
質問	回答
自動ドア事業の利益の下期計画はかなり強気なように見えるが、達成に際して、リスクはあるか。	<ul style="list-style-type: none">・建物用ドアが、東京以外の関東地域で、工期遅れが生じていることにより、上期期首計画に対し未達であった。・下期は、これをキャッチアップすることができれば、通期の計画を達成することは可能と考える。

油圧機器事業説明会	
質問	回答
中国の油圧の3月の春節時の需要の盛り上がりについて、2018年3月は非常に需要が好調に推移したと思われるが、2019年3月の需要をどうみるか？	<ul style="list-style-type: none"> 中国建機の需要は乱高下があるものの2018年から2019年は需要が続くとみている。
建機の Information and Communication Technology 化による油圧機器製品の変化は？	<ul style="list-style-type: none"> 油圧機器のコンポーネントには変化ないが、自動運転などでコントロールバルブを電気・電子化でコントロールすることになると考えられる。日本では建機メーカーが対応するが、海外、特に中国では一緒に開発する可能性はあると考えるが、中国のメーカーとの共同開発などの話しはまだない。
上期で上振れ、通期で上方修正している要因は？	<ul style="list-style-type: none"> 市況環境、ハイエストの買収による新製品の開発により売上が増加してきていると考える。
海外のメーカーに比べ（特に中国）で製品の強みは何か？	<ul style="list-style-type: none"> 走行モータについては耐久性、効率、操作性が強みである。ハイエストの製品も顧客に高評価である。

全体	
質問	回答
その他費用の削減計画は？	<ul style="list-style-type: none">・急がないものは見直すこともある。日々のコストダウンを重要視し、必要なものに対しての投資を行う。